

2018年度事業報告書

2018年 4月 1日から 2019年 3月 31日まで

特定非営利活動法人キドックス

1 事業実施の方針

<プログラムの質と成果の向上 若者編>

・2017年8月1日より開始した障害福祉サービス（就労移行支援、就労継続支援B型）により、当初利用促進を目指していた貧困家庭（生活保護等）や家庭内虐待を受けていた若者、他の福祉事業所や病院からの相談案件等に対応できるようになり、よりサービスを必要としている層にアプローチができるようになった。

・さらにサービスが行き届いていない層（引きこもり状態で情報が届きにくい家庭等）へアプローチするため、地域での広報活動に注力した。

<プログラムの質と成果の向上 保護犬編>

・2018年4月より、ドッグシェルターの開設と、保護犬と出会えるカフェ「キドックスカフェ」の2事業を立ち上げた（カフェの立ち上げは2018年度JT NPO助成事業による助成）。

・カフェの開設により譲渡数が増え、茨城県動物指導センターより引き出しを増やした。また、引き出し～ケア・トレーニング～カフェデビュー～譲渡～里親様フォローまでの一連の流れのシステムを明確化した。

<収入財源の強化>

・若者の作業訓練の一環として製作したキドックスオリジナルグッズを、キドックスカフェやマルシェ出店で販売。

・外部団体と、グッズ販売の提携、業務委託の提携等を行った。

・障害福祉サービスの事業運営を安定化するために、利用者様への広報や福祉サービスについて情報が届いていない方々へ情報提供を中心に行った。

・保護犬と出会えるカフェの業務運営改善のための助成金の申請等を行った。

<職員の人材育成>

・定期的なスタッフ研修を行った（月1回の成果ミーティング、月1回の職員会議にて、スタッフ個人の能力を高め、組織の目標を共有）

・職員やボランティアの採用～育成までを見直し、コンテンツを作成した（2018年度ドコモ市民活動団体助成事業による助成）。

<子ども達への道徳教育活動>

・中学校、高校、大学向けの授業を行い、それぞれの年齢に合わせたコンテンツの見直しを実施した。

2 事業の成果

主に、以下の事業を実施した。

- 引きこもり・不登校の若者向けの自立支援・就労支援事業の実施
- 指定障害福祉サービス（就労移行支援事業、就労継続支援 B 型事業）の実施
- 保護犬の家庭犬トレーニングや心身のケア、保護犬譲渡促進事業
- 講演活動、啓発活動など

■ 2018 年度の利用者数・犬頭数

2018年度(2018/4/1-2019/3/31)		
人	総利用者数	76
	定期通所利用者数	22
	延利用者数（定期利用者のみ）	1364
	進路決定者数	3
	進路決定率(%)	14%
犬	総トレーニング数	16
	総譲渡数	9

■ 2013年5月1日～2019年3月31日までの約6年間の集計

開始時(2013/5/1)から現在(2019/3/31)まで (一般向けプログラムのみ集計)		
人	総利用者数	183
	定期利用者数	42
	延利用者数	3737
	進路決定者数	15
	進路決定率(%)	36%
犬	総トレーニング数	35
	総譲渡数	26

※ 年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため（例えば、プログラム参加した翌年に就労決定等）、過去の年度も含めた集計を掲載しています。

■ 2018 年度の事業別の活動実施回数・利用者数

事業名	活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計 (延人数・頭数)
①引きこもりや不登校の当事者及びその家族への支援事業 /捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	自立支援いぬのいえ	103	92
	新規利用説明会	随時	42
	1日体験	随時	46
	お手紙会員	5	246
	交流イベント	2	45
	面会相談・保護者相談	随時	23
②障害者の日常生活及び社会生活を総合的	就労移行支援事業	246	1293

に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業 /捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	就労継続支援 B 型事業	245	5
	キドックスカフェ	131	1182
③ 子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自然体験事業	動物介在活動	3	343
④ 捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	犬の保護・管理頭数	随時	16
	譲渡数	随時	9
⑤ 捨て犬猫の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	今年度は実施なし	—	—
⑥ 若者自立支援ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業 / ⑦ 若者自立支援ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	DP 講演会	10	307
	取材・見学対応	見学ツアー毎月1回 /その他、毎月随時	164
	啓発イベント/交流会等	2	不特定多数
その他	ボランティア参加	随時	152

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位: 千円)

①引きこもりや不登校の当事者及びその家族への支援事業	保護犬の世話やトレーニング、畑作業、造園、木工製作等を通じて、ひきこもりや不登校の若者へ自立支援・就労支援を行った。	(A)週5回 (B)キドックスファーム (C) 2人	(D) ひきこもりや不登校の若者 15歳～39歳 (E)別表に記載	152
②障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	①の事業の引きこもりの若者たちのうち、障害のある方に対して、就労移行支援事業、就労継続支援 B 型事業のサービス提供を行った。	(A)週5回 (B)キドックスファーム・キドックスカフェ (C) 8人	(D) ひきこもりの若者 15歳～39歳 (E)別表に記載	16232
③子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自然体験事業	学童期～高校生の子ども達が、犬を通じて命の大切さを学べる教育プログラムを実施した。(※今年度は実施せず)	(A) 3回 (B)各教育機関 (C) 1人	(D) 学童期～高校生の子どもたち (E) 343人	0
④捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	保護犬に家庭犬トレーニングとケアを行ったのち、保護犬と出会えるカフェ「キドックスカフェ」にて里親募集を行った。	(A)週7回（カフェは週3回） (B)キドックスファーム・キドックスカフェ (C) 7人	(D) 犬をこれから飼いたい全ての世帯 (E) 別表に記載	0（①②と同一実施のため）
⑤捨て犬猫の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	今年度は実施なし	実施なし	実施なし	0
⑥若者自立支援ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業	ドッグプログラムを行いたい・興味があるという方へのコンサルティングや見学受け入れ	(A) 別表に記載 (B)キドックスファーム (C) 1人	(D) 活動に興味がある全ての人 (E) 別表に記載	0
⑦若者自立支援ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	ドッグプログラムの具体的な内容や成果・実績についての講演会の実施、新聞・ラジオ・テレビ等メディアからの取材の受け入れ	(A) 別表に記載 (B)キドックスファーム (C) 1人	(D) 活動に興味がある全ての人 (E) 別表に記載	1

(2) その他の事業
実施せず

以上